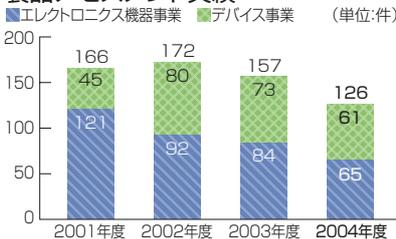
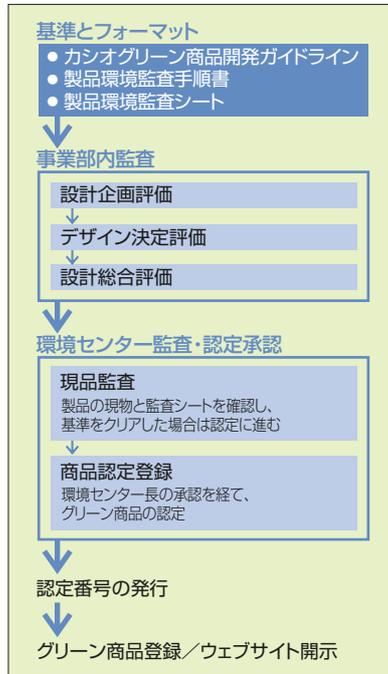
製品開発における環境配慮

明確な設計基準と詳細な評価基準のもと、
グリーン商品の開発推進と売上比率の拡大に努めています。

製品アセスメントの取り組み

カシオでは、「カシオ環境ボランタリープラン」に基づき、1993年から新製品を対象とした製品アセスメントを実施しています。

2001年には、環境適合製品「カシオグリーン商品」のための設計基準を明確にするために「カシオグリーン商品開発ガイドライン」を制定しました。製品アセスメントは、このガイドラインと「製品環境監査手順書」に基づいて、企画、デザインレビュー、設計の各段階において実施されます。2004年度の製品アセスメント実績は、エレクトロニクス機器事業で65件、デバイス事業で61件でした。

製品アセスメント実績

製品アセスメントフロー

グリーン商品認定の仕組み

カシオでは、全ての新製品の開発が「カシオグリーン商品開発ガイドライン」に沿って行われます。このガイドラインに基づいて実施された製品アセスメントの結果は「製品環境監査シート」にまとめられ、製品の環境適合設計について「環境設計度評価」と「環境商品度評価」に分けて評価されます。

「環境設計度評価」とは、基本的な環境適合設計の実施度を評価するもので、また「環境商品度評価」は、先進的な環境適合設計の実施度を評価するものです。双方の評価で基準を満たした製品を「カシオグリーン商品」として認定し、認定番号を与えています。

グリーン商品認定基準

コンシューマ商品

	環境設計度評価:配点100点満点で90点以上が必要
1	材料表示
2	リサイクル設計
3	機能部品種類統合
4	分解性向上
5	電池のリサイクル
6	材質・識別表示
7	環境情報開示
8	単一分別・分解
9	再生資源
10	グリーン調達※
11	オゾン層保護・汚染防止

＋

	環境商品度評価:5項目中、2項目以上の適合が必要
1	省資源:リサイクル性:時計(ウオッチ以外) 安全性(アレルギー):時計(ウオッチ)
2	消費電力の削減・電池の長寿命
3	部品点数の削減
4	省資源の有効利用
5	無鉛はんだ採用
6	部品の有害物質廃止※

システム商品

	環境設計度評価:配点900点満点で810点以上が必要
1	省エネルギー
2	リデュース
3	リユース
4	リサイクル
5	処理容易性
6	環境保全性
7	包装資材
8	情報提供
9	取扱説明書、カタログ等

＋

	環境商品度評価:オフィスコンピュータ/プリンタ3項目以上、ハンディターミナル/電子レジスター2項目以上適合
1	業界トッププランナー:省資源
2	業界トッププランナー:省エネルギー
3	業界トッププランナー:環境負荷
4	鉛フリー(はんだ)※
5	有害物質フリー※(プラスチック)またはハロゲンフリー※(PCB)
6	クロムフリー※
7	塩ビフリー※
8	製品リサイクルシステムへの対応(製品本体)
9	省エネラベル「エナジースター」取得、業界エコラベルの取得、外部環境DBへの登録、第3者エコラベルの取得のいずれか

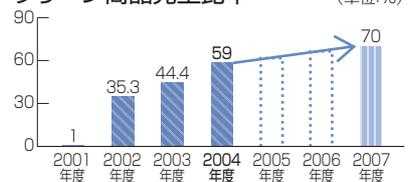
※カシオのグリーン調達基準におけるシキイ値以下を指す

2004年度の目標と実績

カシオでは、2001年度より「カシオグリーンプロダクツ(C.G.P.)活動」を開始し、2005年度までに売上比率を全商品の売上の50%にするという目標を掲げて活動してきました。

2004年度は売上比率59%となり、C.G.P.活動の目標を一年前倒しで達成することができました。今後は2007年度までに売上の70%を達成するという新たな目標に向けて、さらにグリーン商品の比率を高めるよう、製品環境監査シートの項目別に評価を行い、技術課題を抽出し重点的に改善を図っています。

グリーン商品売上比率 (単位:%)

90
60
30
0
1
35.3
44.4
59
70
2001年度
2002年度
2003年度
2004年度
2005年度
2006年度
2007年度

グリーン商品認定実績 (単位:モデル数)

	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度
コンシューマ商品	2	61	55	50
システム機器商品	—	5	12	4